

[illegible]

【ペレット堆肥＋施肥】					～甘藷～		
	俵数/10a	面積/a	散布時間 10a	合計/表	合計作業時間	作業時期	
甘藷用	10	3,000	30分	3,000	150時間	2月～3月	
施肥(からいも配合)	2	3,000	20分	600	100時間	2月～3月	
液肥【エコバランス+サカタ液肥 混合】							
	散布量/ℓ	面積	散布時間 10a	合計/ℓ	合計作業時間	作業時期	
甘藷用	0.6	3,000	3分	180	15時間	2月～3月	
【結果】 日置市R5平均単収(酒造用途) 2,781kg/10 大麦大田(酒造用途) 栽培面積3,000a 生産量852,612kg 平均単収 2,842kg/10a 平均単収としては、昨年度の日置市平均単収より向上はしたものの、基腐れの発生程度で大きく変化することを想定すれば同等と捉えている。作業時間の低減や化学肥料の削減50%を考慮すると今後も継続的に活用出来る実証となった。 部会員も結果が認められることから、今後この方法で栽培を確立し、みどり認定を取得する計画である。							
従来まで甘藷施肥施肥	数量						
バラ堆肥	1t						
からいも配合	4俵/20kg						

【労力の削減】

々
擧
々

堆肥散布の取組での作業時間の減少

バラ堆肥	↑	250時間	×	2名	=	500時間
ペレット堆肥	↑	250時間	×	1名	=	250時間
△250時間の削減						
液肥散布	↑	25時間	×	2名	=	50時間
50時間の増加						
合計					△200時間	

【ペレット堆肥】				【大麦若葉実績】				～大麦若葉～			
俵数/10a	面積/a	散布時間 10a	合計作業時間	作業時期	収穫時期						
5	2,000	30分	100時間	10月	11月～2月26日						
大麦若葉用					製品加工	(株)春日園川路製茶					
					R5部会数量	357,500 kg	R6部会数量	366,000kg			
液肥【エコバランス+サカタ液肥 混合】											
散布量/2	面積	散布時間 10a	合計/2	合計作業時間	作業時期	R5部会面積	2,000 a	R6部会面積			
0.6	2,000	3分	120	10時間	10月	R5部会単収	1787.5 kg	R6部会単収			
従来まで大麦若葉					R4需要者 大麦生産量	687,562 kg					
数量					R4需要者 大麦買葉面積	4,000 a					
バラ堆肥					参考	買葉平均単収	1718.905				
1t											
オール14											
2俵/20kg											

【結果】
従来までの化学肥料を用いた栽培体系と同等それ以上の収穫量となったことから、天候にも左右されるものの本実証の効果は認めれる。
また、化学肥料を廃止し、ペレット堆肥と液肥散布に切り替えたことにより土壌の保肥力や地力の向上がみられ、昨年度の製造先の平均単収と同等であることから、化学肥料を低減が可能な実証となった。
収量としてもR5年産と同等、それ以上の結果となったことから、化学肥料の低減が見込まれる取組となった。

【労力の削減】

堆肥散布の取組での作業時間の減少

バラ堆肥	→	250時間	×	2名	=	500時間
ペレット堆肥	→	100時間	×	2名	=	200時間
△300時間の削減①						
液肥散布	→	10時間	×	2名	=	20時間

20時間の増加 ②

①+② △280時間の削減